保護者向けガイド　2027年版

Global Scent

その「ひとりの挑戦」は、一生モノの自信になる。



中高生専門 カナダ留学

全員一人参加を支える、23年の実績と現地完結型の安心サポート。

はじめての留学を考えている親御様へ

この度は資料をご請求いただき、
ありがとうございます。
グローバルセント代表の小林です。

お子様を一人で海外へ送り出す。
そう考えたとき、期待と同じくらい不安があるのは、
当然のことだと思います。

私は2003年に独立してから23年以上、
留学の仕事に携わってきました。
現在は、中学生・高校生のカナダ留学を専門に、
ご本人とご家族のご相談をお受けしています。
カウンセリングでお会いした方は、1,500名を超えます。

その中で感じてきたのは、留学の成果は
「どこへ行くか」と同じくらい、
「誰に任せるか」で変わるということです。

この資料には、プログラムや費用の目安だけでなく、
出発から帰国まで実際にどのように見守っているのか、
そして私たちが大切にしている考え方を、
できるだけ具体的にまとめました。

読み終えたとき、「うちの子の場合はどうだろう」と
考えるきっかけになれば嬉しいです。

グローバルセント 代表　小林正也

Global Scent

CONTENTS

目次

01 はじめに P.2

02 私たちが大切にしていること P.5

03 プログラムと費用 P.9

04 出発から帰国まで P.14

05 保護者の声 P.20

06 代表と無料の留学相談のご案内 P.24

この資料と一緒に、お子様向けの「カナダ留学応援ガイド」もお送りしています。
気候や服装、現地での1日の過ごし方、航空券やETA（電子渡航認証）の手続きは、
そちらにまとめました。ぜひ親子で読んでみてください。



最初は、みなさん同じ不安を持っています

ご相談でよくいただく質問です。この資料のどこで答えているかを示しています。

英語がほとんど話せなくても大丈夫? → P.7・P.19

ホームステイ先は大丈夫?うまくいかなかったら? → P.8・P.18

費用はどのくらいかかる? → P.12

一人で飛行機に乗れる?乗り継ぎは? → P.15・P.16

現地で体調を崩したら? → P.12・P.17

いつまでに決めればいい? → P.13

第2章　私たちが大切にしていること

「行かせる会社」ではなく、「預かる会社」でありたい。

留学の成果は、プログラムの名前だけでは決まりません。
誰が、どんな気持ちで見守るかで変わります。

お子様をお預かりする、4つの約束

01 困ったとき、判断が止まらないようにします

トラブルが起きたら、まず現地スタッフが動きます。状況はすぐに私へ共有し、親御様には正確な状況と今後の見通しをご報告します。

02 良いことだけでなく、壁があることも前提に準備します

ホームシックや、思うようにいかないことは、多かれ少なかれ必ずあります。出発前にそれを伝え、乗り越える準備をしてから送り出します。

03 「自分の子どもを預けられるか」で選びます

学校や学区、ホストファミリーは、パンフレットの情報だけで選びません。当社が手配するホームステイは、コーディネーターの人柄や家族の価値観、これまでの受け入れの様子まで確認しています。

04 お子様の気持ちを、何より大切にします

本人の「行ってみたい」という気持ちを大切にしています。合わないと感じたときは、正直にお伝えします（詳しくは次のページ）。

英語力よりも大切なのは、本人の「行ってみたい」という気持ちです

英語に自信がなくても、心配はいりません。参加者の8割以上は、英語に自信がない状態で出発しています。

きっかけが親御様からでも、まったく問題ありません。不安や心配があっても、本人に「チャレンジしてみようかな」という気持ちが少しでもあれば、一緒に準備を始められます。

一方で、ご相談の中でお話をしても、本人がまったく行きたいと思っていない場合は、留学を見送っていただくようお伝えしています。これは必ずそうしています。また、お子様の性格や今の様子、時期を考えて「今はまだ早い」と感じたときも、正直にそうお伝えし、見送りをおすすめすることがあります。

「行けば何とかなりますよ」「行けば楽しい思い出になりますよ」と、本人をその気にさせるような勧め方は、私たちは決してしません。

本人が自分で決めた留学だからこそ、壁にぶつかっても乗り越えられる。23年間、たくさんの中高生を見てきて、そう感じています。

本人に「行ってみたい」気持ちが
少しでもある

↓

一緒に準備を始めます

本人がまったく行きたくない
または、性格や時期が合わない

↓

留学の見送りをおすすめします

留学会社を選ぶときに確認していただきたい5つのこと

どの会社を選ぶ場合でも、ぜひ確認してください。プログラムや金額だけでは違いが分かりにくいものです。
次の5つを質問していただくと、安心して任せられるかが見えてきます。当社の答えも並べておきます。

確認していただきたいこと	グローバルセントの場合
□ 1. 現地に、日本語で相談できるスタッフはいますか? どこにいますか?	バンクーバー在住の日本人スタッフがいます。ビクトリア・トロントのプログラムは、LINEと電話でサポートします（365日対応）。
□ 2. トラブルのとき、誰がどう判断しますか?	現地スタッフがまず対応し、すぐに代表へ共有、親御様へご報告します。
□ 3. ホームステイ先は、誰が選んでいますか?	当社が手配する場合は、当社で家庭を確認しています。学区などが手配するプログラムでは、その手配担当者と当社の現地スタッフが連携します。
□ 4. 滞在中、親への連絡はありますか?	到着時・滞在の途中・帰国時にご連絡します（詳しくはP.15）。
□ 5. 相談のとき、子ども本人の話を聞いてくれますか?	相談には必ずお子様にも同席していただき、本人の気持ちを伺います。

第3章　プログラムと費用

どんなプログラムがあって、いくらかかるのか。

お子様の学年や目的、時期によって、選べるプログラムが変わります。

目的に合わせて選べる、6つのプログラム

ホームステイ＆カルチャー体験（当社主催）

場所｜バンクーバー
時期｜通年・1週間（高校生限定）
滞在｜ホームステイ

⇒ 学校には通わず、初めての海外生活を体験したい

ホームステイ＆語学学校

場所｜バンクーバー（SSLC等）
時期｜春休み・夏休み・1〜4週間
滞在｜ホームステイ

⇒ ホームステイをしながら語学学校に通いたい

語学学校主催 サマープログラム

場所｜バンクーバー（UBC・TWU等）
時期｜夏休み・1〜6週間
滞在｜大学の寮

⇒ 大学寮に滞在し、英語とアクティビティを楽しみたい

学区主催 サマープログラム

場所｜デルタ学区・ビクトリア学区・コモックスバレー学区
時期｜夏休み・2〜8週間（学区による）
滞在｜ホームステイ

⇒ 色々な国の留学生と、英語やアクティビティをしたい

名門私立校主催 サマープログラム

場所｜ビクトリア・トロント
時期｜夏休み・2〜4週間（学校による）
滞在｜学生寮

⇒ 現地の同世代や世界中の留学生と過ごしたい

体験留学（現地の高校に体験入学）

場所｜カナダ各州
時期｜通年（受け入れできない月あり）
　　1か月〜5か月程度
滞在｜ホームステイまたは学生寮

⇒ 現地の生徒と一緒に授業や学校行事に参加したい

どれが合うかは、お子様の性格や英語力、留学の目的によって変わります。迷ったときは、無料の留学相談で一緒に考えます。

中高生の初めての留学に、カナダを選ぶ理由

治安が比較的良い

銃の規制が厳しく、留学生を受け入れてきた歴史も長い国です。

多文化の国

世界中から移民を受け入れてきた国で、留学生も受け入れてもらいやすい雰囲気があります。

学区（教育委員会）が留学生を受け入れている

公教育の一部として、留学生の受け入れが行われています。学校や学区によって受け入れの様子は違うため、私たちは実際の環境を確認して選んでいます。

都市	日本からのフライト	どんな街か	こんな方に
バンクーバー	直行便あり （約9時間〜9時間半）	海・山・都会がそろう街。 夏は湿気が少なく爽やか	初めての海外に挑戦する方
ビクトリア	バンクーバーで乗り継ぎ （合計約11〜12時間）	「ガーデンシティ」と呼ばれる 落ち着いた州都	落ち着いた環境で、 じっくり英語に向き合いたい方
トロント	直行便あり （約12〜13時間）	カナダ最大の都市。 ナイアガラの滝へ日帰りも可能	都会で、 国際色豊かな体験をしたい方

費用の目安と、保険の考え方

費用の目安（学区主催サマープログラム・2週間・ホームステイの一例）

項目	金額の目安	お支払い先
プログラム費用	**約60万円**	当社
航空券	**約20万〜30万円**	各自で手配
海外旅行保険	**約1万〜1.5万円**	各自で手配
お小遣いなど	**約2万〜4万円**	—
合計	**約83万〜95.5万円**	—

金額は2026年の料金をもとにした目安です。春休みの航空券は、約15万〜25万円が目安です。費用はプログラム・期間・時期によって変わります。お見積りは無料で、ご相談のあとにお出しします。

費用に含まれないもの

現地でのお小遣い、通学時の交通費など

プログラム費用に含まれるもの

留学相談、当社手配料、空港の送迎（往復）、現地到着後のオリエンテーション、滞在先の手配、ホームステイ滞在費、食費（1日3食）、学校の登録料・授業料・アクティビティ費用・教材費、日本人スタッフによる現地サポート

保険について

海外旅行保険への加入は任意です。ただし、学校側の医療保険がないプログラムに参加する場合は、必ず加入していただいています。
学区や名門私立校のプログラムは、学校が医療保険に加入しているため、プログラム期間中はその保険で対応できます。ただし、日本とカナダの移動中や、プログラム外の自由時間は対象外になることがあるため、できる限り加入をおすすめしています。

いつ、何を決めればいい？（夏休みに参加する場合）

12月〜3月ごろ	資料を読み、無料の留学相談へ（多くの親御様が2〜3月ごろに参加を決めています）
4月中旬〜GWごろまで	お申込み（早いプログラムは4月中旬が締切です。空きがあれば、5月・6月でも手配できるプログラムもあります）
お申込みの確定後	学校が決まります
出発の3〜6か月前	航空券の予約（各自。予約方法はご案内します）
出発までに	パスポートの確認、電子渡航認証（eTA）の申請
出発の1か月〜2週間前	出発前オリエンテーション※
出発の2週間〜1週間前	滞在先（ホストファミリー）が決まり、ご案内します
夏休み	**出発**

ホストファミリーが決まるのは、出発の少し前になることが多いです。
決まったら、すぐにご案内します。

春休みに参加する場合

流れと時間の感覚は、夏休みと同じです。お申込みの締切は1月ごろまでのプログラムが多いため、それまでに無料の留学相談を受けていただくと安心です。
オリエンテーション（出発の1か月〜2週間前）、滞在先の決定（出発の2週間〜1週間前）も夏休みと同じ目安です。

※ホームステイのみのプログラムでは、出発前オリエンテーションは行いません。そのかわり、出発前に私から個別に、メールやお電話で詳しくご案内します。

第4章　出発から帰国まで

一人で行く。
でも、ひとりにはしない。

参加者は全員、日本から一人で出発します。
現地では、スタッフとホストファミリーが見守ります。

出発から帰国まで、こうして見守っています

1	**出発前**	オリエンテーションで、渡航の流れと現地での過ごし方をお伝えします（ホームステイのみは個別にご案内）
2	**出発・乗り継ぎ**	到着時・入国審査の後に、LINEで現地スタッフへ連絡します
3	**到着**	空港で現地スタッフ（または学校スタッフ・ホストファミリー）が出迎えます
4	**滞在中**	困ったときは、LINE・電話で現地スタッフに相談できます（365日対応）
5	**帰国**	チェックインと、乗り継ぎがあればその後まで確認します
6	**帰国後**	滞在中のことを、本人から私が聞かせてもらいます

親御様へのご連絡

到着したとき

必ずご連絡します。

滞在の途中

何も問題がなくても、様子をお知らせします（2週間なら1週目ごろ、4週間なら2週目ごろ）。

帰国の日

チェックインや乗り継ぎの無事をお伝えします。

※バンクーバーは現地スタッフが住んでいるため、写真付きでご報告できることもあります。ビクトリア・トロントはLINE・電話でのやり取りが中心です。

実際にあったこと①　乗り継ぎで迷ったとき

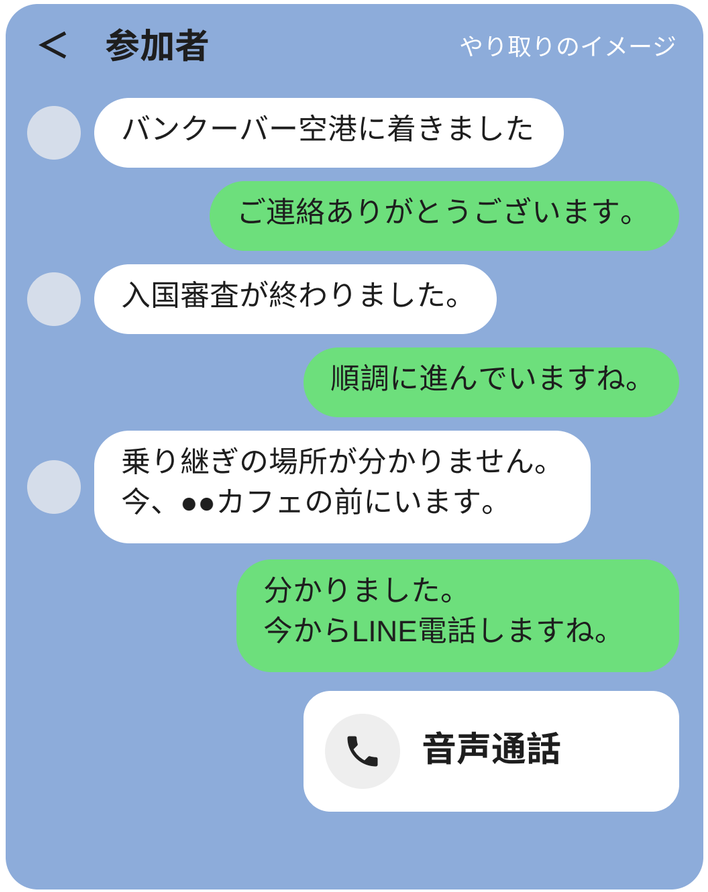
バンクーバーでの乗り継ぎ。LINEで国内線まで案内しました。

ビクトリアのプログラムに参加した中学生のお話です。

バンクーバーで入国審査まではスムーズに進みましたが、国内線へ乗り継ぐ場所が分からなくなってしまいました。

本人は現地スタッフにLINEで連絡し、「今こういうものが見えます」「ここまで来ました」と、周りの様子を伝えてくれました。スタッフはその情報をもとに、LINEで国内線の乗り継ぎまで案内しました。

乗り継ぎがあるときは、到着時・入国審査の後にLINEで連絡してもらいます。
これまで、乗り継ぎで飛行機に乗れなかったケースはありません。



実際にあったこと②　出発直前の発熱

出発の2日前に熱が出たとき

出発の2日前に、熱を出してしまったお子様がいました。予定どおり出発するかどうかを判断するため、私と現地スタッフで情報を共有し、ホストファミリーにも状況を伝えました。

出発当日には平熱近くまで下がったため、予定どおり出発しました。ただ、まだ体調が万全ではなかったので、その情報を現地スタッフとホストファミリーで共有しました。ホストファミリーも状況を分かったうえで、到着後は1日ゆっくり過ごせるように配慮してくれました。

対応の流れ

出発2日前｜発熱
↓
私と現地スタッフで情報を共有し、
ホストファミリーにも連絡
↓
出発当日｜平熱近くまで下がり、
予定どおり出発
↓
到着後｜ホストファミリーが
1日ゆっくり過ごせるよう配慮

**滞在中に体調を崩したときも、ホストファミリーと現地スタッフが
連絡を取り合い、お子様の体調を見守ることが基本です。**

実際にあったこと③　ホストファミリーとうまくいかないとき

「うまくいかない」と連絡があったら、まず両方から話を聞きます。

現地スタッフが、こうして間に入ります

① まずは、お子様の気持ちを聞きます
何がつらいのか、どんなときに困っているのかを、お子様の言葉でゆっくり聞かせてもらいます。

② ホストファミリーからも、お話を伺います
片方の話だけで判断しないよう、ホストファミリーにも様子を確認します。

③ 何が原因なのかを考えます
英語がまだうまく伝わらないのか、ホームシックなのか、文化や習慣の違いなのか。
両方のお話から原因を探します。

④ お子様にできることを、一つずつ伝えます
原因に合わせて「こう伝えてみよう」「こうしてみよう」と具体的に伝え、少しずつ試してもらいます。

⑤ ホストファミリー側に問題があるときは
ファミリーに伝えて改善してもらいます。それでも難しい場合は、滞在先を変えることもあります。



これまで、当社が手配したホームステイで、ファミリー側の問題で滞在先を変えたことはありません。
出発前に、一つひとつのご家庭を確認しているからです。

※学区などが手配するホームステイでは、手配担当者と当社の現地スタッフが連携して対応します。

「楽しかった」で終わらせない、3つの準備

出発前

自分で決めて、自分で挑戦する準備

「行くのは自分」「何のために行くのか」を、オリエンテーションやカウンセリングの中で、お子様自身の言葉にしていきます。現地では、待っていれば誰かが全部やってくれるわけではありません。ホームシックや思いどおりにいかないことも、きっとあります。楽しいことだけでなく、そうした場面があることも知ったうえで、安心して出発できるよう一緒に準備します。

滞在中

小さな成功体験を重ねる

難しい場面があっても、一人で抱え込ませません。現地スタッフが、どう挑戦すればいいかや、これまでの先輩たちの例を伝えながら、そばで支えます。小さな壁を一つ乗り越えるたびに、留学そのものが楽しくなっていきます。

帰国後

これからの選択に生かす

帰ってきたら、私が滞在中のお話をじっくり聞かせてもらいます。「楽しかった」で終わらせず、この経験をこれからの進路や選択に生かせるよう、お子様とご両親に声をかけています。

親御様へのお願い：滞在中の連絡は、できるだけ控えめに

離れているお子様のことが心配で、毎日でも声を聞きたくなるお気持ちは、私もよく分かります。そのうえで、滞在中のご連絡は、できるだけ控えめにしていただくようお願いしています（強制ではありません）。
頻繁に連絡を取っていると、かえってホームシックが強くなったり、現地に馴染みにくくなったりすることがあります。また、困ったときに、目の前にいるホストファミリーやスタッフではなく、遠くの親御様に頼るようになってしまいます。
お子様の様子は、私たちから親御様にお伝えします（P.15）。どうぞ安心して、見守ってあげてください。

第5章　保護者の声

送り出した親御様の声

出発前の不安から、帰国後の変化まで。
実際に参加されたご家庭の言葉です。

不安があったからこそ、決める前にたくさん話しました

小林さんとのお話で、行く前の不安がなくなり『楽しもう！』という気持ちで出発でき、とても良い経験ができたと思っております。

A.Kさん（13歳・中学生）のお母さま

行先よりもプログラム内容よりもまずは安心できる家庭を最優先。

辺見駿一郎さん（15歳・高校生）のお母さま

小林さんがどんなささいな質問に対しても、丁寧に分かりやすくお返事を下さって、信頼感が増しました。

岩崎里奈さん（15歳・高校生）のお母さま

リスクとのトレードオフを心配するのなら、うちの場合はリターンの方が大きかったです！

E.Mさん（中学生）のお父さま

離れていても、安心して待てました

グローバルセントさんからの空港到着や現地スタッフさんとのコンタクト時の様子などを詳細に保護者へ連絡をくださり、本当に安心しました！

E.Mさん（中学生）のお母さま

体調不良の時にはすぐにご連絡くださりサポートがしっかりしていると感じました。

長谷川寿一郎さん（12歳・中学生）のお母さま

留学中も何かあれば相談できるという安心感があり、私たちも安心してMをお任せすることができました。

M.Hさん（15歳・高校生）のお母さま

出国してから帰国するまで本人とは一切連絡を取らずに過ごしましたが、それも小林さんたちへの信頼があってこそ。

K.Kさん（15歳・高校生）のお母さま

『子どもの自立の為に親から連絡するのは我慢してください』という内容があり、ここまで気遣って頂いて感激しました！

S.Sさん（16歳・高校生）のお母さま

出発寸前まで丁寧にサポートして頂けたことは、一人で海外に行く娘にとって安心材料となりました。

K.Hさん（16歳・高校生）のお母さま

帰ってきたわが子に、驚きました

意思表示を以前より、はっきりするようになったように感じます。

N.Mさん（13歳・中学生）のお母さま

初めての英語圏でしたが、一人でも観光に行くなど、親の想像を超えてとても積極的に行動していたようで驚きました。

I.Kさん（14歳・中学生）のお母さま

帰国後、直ぐの息子の言葉「また、行きたい！」これ以上のお土産はないと思いました。

K.Oさん（中学生）のお母さま

私自身が、子供の事を心配していましたが、皆様のサポートのおかげで、逞しく行ってこれたことで、子供の成長を感じ、私自身が子離れしなければならないと感じました。

Y.Oさん（15歳・高校生）のお父さま

ほかの体験談は、ホームページの「体験談」でご覧いただけます。

https://global-scent.com/taikendan-shortterm-highschool/

ご相談から帰国まで、私が担当します



小林正也　グローバルセント代表

私が初めて海外へ行ったのは、小学生のころです。そこで出会った添乗員の姿に憧れ、世界を舞台に仕事をしようと決めました。学生時代は、貯金をしてはバックパックで海外へ出かけていました。

卒業後は添乗員として、国内外100本以上のツアーに同行し、20か国以上を巡りました。その後、旅行会社・留学会社で経験を積み、2003年に独立しました。

それから23年以上、中学生・高校生を中心に留学に関わり、カウンセリングでお会いした方は1,500名を超えます。留学の相談だけでなく、進路や将来の悩みを伺うことも少なくありません。

私自身も2人の息子の父です。「自分の子どもを送り出すのと同じ気持ち」で、お話を伺います。

保有資格：総合旅行業務取扱管理者／RCA海外留学アドバイザー

決めるための相談ではなく、考えるための相談です

「うちの子に合うのか分からない」「まだ行くかどうかも決めていない」「親子で考えが少し違う」「人見知りで、うまく話せるか心配」。
そんな段階でも、ご相談いただけます。お話を伺ったうえで、「今回は見送った方がいい」とお伝えすることもあります。それも、お子様のための大切な判断だと考えています。

形式	対面（横浜駅または東京駅近くのカフェ）、Zoom、お電話。Zoomでのご相談がいちばん多いです
時間	1時間〜1時間半ほど
参加する方	親御様とお子様。お子様には必ず同席していただきます
費用	**無料**
相談のあと	参加をご希望の場合のみ、詳しいご案内をお送りします。こちらから何度もご連絡することはありません

相談でお話しすること

- 留学の目的や、お子様の気持ち
- 親御様が心配されていること
- お子様の性格や英語力に合うプログラム
- ご予算・時期・期間
- 「今行くべきか、まだ早いか」の判断材料

遠方にお住まいの方も多く、Zoomやお電話だけでご相談いただくこともできます。

ご相談から出発までの流れ

1

資料請求
（いまここ）

12月〜3月ごろ

2

無料の留学相談
（お子様も一緒に）

Zoom・対面・お電話
1時間〜1時間半

3

お申込み
（学校が決定）

夏休み：
4月中旬〜GWごろまで

春休み：
1月ごろまで

4

航空券の予約
パスポートの確認
eTAの申請

航空券は
出発の3〜6か月前

5

出発前
オリエンテーション

出発の
1か月〜2週間前

※ホームステイのみのプログラムは、私から個別にメール等でご案内します

6

滞在先の
決定・ご案内

出発の
2週間〜1週間前

そして出発。帰国後には、滞在中のお話を聞かせてください。

まずは、お気軽にご相談ください

Webから

留学相談のお申込み

https://global-scent.com/counsel/

資料請求やご相談のあとに、こちらから営業のお電話をすることはありません。どうぞ安心してご連絡ください。

お電話

045-360-8338

平日10:00〜18:00

メール

info@global-scent.com



ご相談は、代表の私が直接お受けします。

- 無料
- Zoom・対面・お電話
- 1時間〜1時間半
- お子様も一緒に

Global Scent Co., Ltd.

https://global-scent.com